

●木津川希少種植生調査管理業務 除草作業の実施 南方の一番遠い端から順次作業進む

10月26日に加茂町小谷の2ヶ所、10月30日に恭仁大橋の下流2ヶ所の草刈りが終了、今秋の草刈りは機械の調子もよく順調に進んでいます。

●東京農業大学の研究生リード・ガリブエル氏から中聖牛や竹蛇籠の現地視察のリクエストが来る。

里山の会が京都大学の竹門先生と一緒に取り組んだ現場を見学したいとメールが届きました。11月の第1週に京都に来るのでお世話になりたいとの申し入れがありました。少しずつ私たちの取組に関心を持ってくれる方に広がってきているのではないのでしょうか。うれしいことです。

●八幡市の文化祭が10月26日に開催されました。

今懸命に製作に力を発揮されている木下勉さん（楽団キジューの世話役）と一緒に尋ねました。市役所前や文化センター前が会場で市役所の環境課のコ

ーナーで元河川レンジャーの川口さん（祭りの開催責任者）に会う事ができ、竹サインペンの取組を説明できました。



第52回八幡市民文化祭



●京都大学宇治川ラボラトリーで京の川の恵みを生かす会のフォーラムが開催。 10月27日(日)

賀茂川や桂川、保津川、宇治川、京淀川の漁協、大阪市漁協の皆さんと京都大学や摂南大学の学生の方々、京都市職員など80人の参加があり、サツキマスやアユの実態が語られ、魚道の特徴が発表されました。中でも京都聖母学院小学校生徒の発表は聞く人を納得させる非常に良いお話でした。里山の会は入り口に竹蛇籠を展示し、フロアには10枚の活動紹介のパネルを並べ、アライグマの6匹を撮影したものが人目を惹き付けていました。



●城陽市緑化フェスティバル 10月27日(日)

この日は多くの所で集いが開催され、里山の会は城陽市の緑化フェスティバルに松かさツリーづくりと竹サインペンの宣伝の二つの取組で出展させていただきました。例年通り、松かさツリーは人気があって多くの子どもたちにご参加をいただく事が出来ました。



●松ぼっくりの収集に同志社大学から協力してみましようとの返事が届きました。

同志社大学ボランティア支援室の高橋さんに松かさ集めのお願いをしたところ、早速学生たちに呼び掛けて見ますとの返答をいただきました。このような関係が出来上がり協力協同のきずなが出来てくると大変うれしいことですね。

●久御山町の栄3・4丁目のフェスティバルに出演が決まる。

9月27・28日に竹蛇籠製作教室と松かさツリーづくりで参加したきょうといきものフェスをご覧になった久御山町の田中貞夫さんが里山の会の定例事務局会議にお越しになって出演依頼をされました。出席者一同大賛成で了解をしました。当日は玉水浜で竹蛇籠製作講習会の開催と重なりますが、森島さん、有田さん、金田さんが出席するところまで決定しました。

京田辺市市民の皆様へ

京田辺市の木に指定されている**ナンキンハゼの実**を求めています

私たちNPO やましろ里山の会は、これまで松ぼっくりとナンキンハゼの白い実に着色をして子どもたちにワークショップを楽しんでいただけてきました。松かさやナンキンハゼをくっ付け、京田辺市の自然のすばらしさなどをお話させていただく事などを行ってきました。しかし、近頃は松ぼっくりの収集が困難になると同時に、ナンキンハゼの白い実の獲得も思うようにできなくなってきました。

皆様のご自宅やご近所にナンキンハゼが生育していましたら、ご協力をお願いできないでしょうか。集めていただいたものは私たちから受け取りに伺いますので、ご連絡いただければ有り難いです。またご持参いただければ大変助かります。(受取期間 11月20日～11月31日 10時～15時)

採取期は紅葉して少し経過した頃(11月中旬)です。頃合いを見て採取をお願いします。大変ご無理なお願いを致しますが、どうぞご協力をお願い致します。



ナンキンハゼの木

NPO やましろ里山の会

住所 京田辺市田辺深田 15

Tel. 0774-64-4183 (FAX 兼用)

府道八幡～木津線 馬坂川の天井川南方
ガソリンスタンド(エネオス)の北隣



松かさツリー 完成品



ナンキンハゼの木



ナンキンハゼの実